

道徳通信

泉大津市立誠風中学校
2024.5.16 第2号
発行者 道徳担当

「いじめ」 人間の心と向き合う

いじめは人間として絶対に許されない

いじめを許さない。誠風中のみなさんには、そんな心を持った人間であってほしいと思います。なぜいじめが許されないのか。いじめをしてしまう心の動きとは何なのか、いじめ撲滅^{ぼくめつ}のために私たちが大切にしたいことは、何なのか。道徳の授業でしっかりと向き合い、考えてほしいと思います。

《5月8日（水）2年生道徳授業にて》

タレントの春名風花さん（当時小学6年生）が書きたいじめについての主張「君、想像したことある？」という読み物資料より、考えを深め、広げるみなさんの姿がありました。

各クラスでは、真剣に想いを込めて自分自身の主張を記入していたり、いじめはなぜアカンのか、堂々とクラスメートの前で想いを伝える子どもたちの姿がありました。先生からは、「今日めっちゃみんな真剣に考えてくれてるやん。ありがとうな。」との言葉も。

人間の心って難しい。そこに真っすぐに向き合って、自分の思いを考え直すみなさんの姿が、すばらしかったです。その気持ちを、心をずっと大切にしてください。

❀ みなさんの感想を一部紹介します

- ・いじめている人はどういう気持ちでいじているのだろう。優しい心や思いやる心を持ちたい。
- ・いじめをなくすには人の気持ちを考えるだけじゃなくて、それを全員が「行動」に移していけば誰も傷つくことなく生活していけるんじゃないかなと思った。

- ・つねに、相手はこう言ったらどう思うのか、こう言いかえたら相手に傷つかず言えるのかと考える。
- ・自分の考えだけで行動するのではなく、その行動によって周りの人がどう思うのかを考えて行動するのが大事だと思った。
- ・言葉のナイフは心に傷をつけるから体の傷は治っても心はなおらんから、言動にはより気をつける。
- ・軽い気持ちでやっていたら大変なことになって責任が自分になって手におえないことになる。あんまり罪のことを考えることがなくてどうなるかと思っていたけど、すごい残酷なことと今日の授業で分かった。
- ・人間だから、人間に対して嫌とかいろんな感情が出てしまうけど、心にしまっておく。言葉に発してその人に伝わってしまったり、行動で表してしまうとそれがいじめにつながる原因になるからダメ。人の気持ちを思って誰とでも優しく接する。
- ・いじめは絶対ダメだし、いじめていないと思ってもいじめられていると相手が思っているかもしれないから、しっかり考えて言ったらダメなことは言わないようにしようと思いました。
- ・いじめをしている人とされている人でその行動に対しての認識が全く違った。「相手の気持ちを考えて、自分も行動する」という意見にとっても共感した。私は考えているつもりでも、相手がいやなことを言ってしまうかもしれないから、これからは相手の気持ちを考えるということと、もっと相手のことを知ろうと思った。「ちょっと苦手だな」とか「めんどくさいな」と思う人もいるけど、もっとその人のことを知って、いい所も悪い所も見つければいいと思った。
- ・ひどいと思った。いじめをしている感覚がないというのもショックやった。いじめで命を絶った、年の変わらない人がいると思うとすごい悲しくなった。みんなが人の悲しみや辛さを想像できて、自分も悲しくなれたらいじめはなくなるんじゃないかなと思った。
- ・いじめは、ちょっとした遊びでやっていると思っても、いじめられている人は本当に傷ついていることだと改めて感じた。本当に大切な命がなくなってしまうかもしれないことを考えて、絶対にいじめをせず、いじめを見かけたらとめたいと思った。いじめを本当にこの世からなくしたいと思った。
- ・されて嫌なことは絶対してはいけないし、今までいじめはしてはいけないけどなぜしてはいけないのかをこんな1時間深く考えたことがなかったから考えられてよかった。本当にいじめで自殺をした人がいるのを知って、楽しいだけでいじめをして大切な命がなくなってしまうのは、いじめられた子がかわいそうだし、いじめの怖さが分かった。
- ・〇〇さんの、「自分のやりたいことをやるのではなく、相手の気持ちを考えて行動したらいじめはなくなると思う」という意見が印象に残った。なぜなら、自分達がお互いに分かり合えば平和になるという考えは自分だけでは分からなかったから。
- ・自分は、〇〇さんの「自分がされて嫌なことはしない」というのがいいと思った。〇〇先生や校長先生が言っていたことがもっと大事だと思いました。